

青少年発！
私たちの地域づくり



第9回地域教育実践 東予ブロック集会

2026年1月24日(土)

新居浜市立惣開小学校・惣開公民館

主催 地域教育実践ネットワークえひめ

協力 NPO 法人えひめ子どもチャレンジ支援機構

後援 文部科学省・愛媛県・愛媛県教育委員会

「えひめ教育の日」推進会議・愛媛県教育研究協議会



公益財団法人スポーツ安全協会
For Fair Sports & Cultural Activities

日本体育
立構一安全協会 スポーツ安全協会
の取組を助けています

青少年発！ 私たちの地域づくり かかわりをチカラに つながりをカタチに

第9回地域教育実践東予ブロック集会実行委員会 実行委員長 今井 博志

県立高校では少子化に伴う生徒数の減少により、東予地域でも高校が再編成され令和8年4月から新しい高校が開校されたり新しい学科が併設されたりします。新居浜東高校には「健康スポーツ科」が併設され、三島高校には「商業科」が今治西高校には「国際科」が併設されます。また、小松高校・丹原高校・東予高校の3校を閉校し、新しく「小松高校」「東予総合高校」が開校されます。小松高校には「普通科」「情報科学科」が、東予総合高校には「アグリデザイン科」「機械電気科」「建築土木科」「ライフデザイン科」「総合学科」が、今治西高校伯方分校と今治北高校大三島分校が合併してできる「しまなみ高校」が開校し「総合学科」が設けられます。

新しく生まれ変わる高校のスクールミッションには「地域と協働した探究活動」「地域社会の発展に貢献する人材の育成」など地域の人や物、伝統行事を大切に活動し「郷土愛」を育てる教育が進められています。

第9回目となる地域教育実践東予ブロック集会は、新居浜市を会場に開催します。これまでは高校生の取り組みの発表を中心に開催してきましたが、歓迎アトラクションではNHK全国学校音楽コンクールに5年連続出場しています高津小学校合唱部が、シンポジウムでは新居浜工業高等専門学校が開発したアプリでの地域貢献、別子中学校の中学生と地域の人との関わりから生まれる活動について発表してくれます。ワークショップでは、昨年大阪で開催された万博を東予で開催するとしたら、どんな内容にしたいかを考えます。東予地域の魅力を改めて探し出し、私たちにしかできない万博をプロデュースしてみませんか？

本日の出会いや取り組みの発表が皆さんの地域づくりのヒントになれば幸いです。次年度は今治市で開催する予定です。また会える事を楽しみにしています。

集会趣旨

これまで県内では、各地の地域活動者・各グループが互いに交流を深め、地域の教育力を高め合ってきました。

本集会では、東予地域で地域活動に取り組む青少年の実践を中心に、「かわりをチカラに、つながりをカタチに」を合言葉として、若者と共に拓く地域づくりについて考えます。

みなさんで、地域教育に関わる者のつながりを広げていきましょう。

日 程

12:00～	○ 受 付
12:30～12:45	○ 歓迎アトラクション 新居浜市立高津小学校合唱部
12:50～13:05	○ 開会行事 開会挨拶 (地域教育実践ネットワークえひめ代表 若松 進一)
13:05～14:05	○ シンポジウム 「若い力と地域を動かす！」 ・新居浜市立別子中学校 ・新居浜工業高等専門学校 ☆コーディネーター： 実行委員 越智 秀雄
14:05～14:20	休 憩
14:20～15:50	○ ワークショップ 「東予万博を開催しよう」 ～わがまちの魅力発信～ ☆ファシリテーター： 実行委員 柳瀬 剛
15:50～16:00	○ 閉会行事 閉会挨拶 (地域教育実践東予ブロック集会実行委員長 今井 博志)



新居浜市立
高津(たかつ)小学校
♪合唱部♪です



高津小学校は
コミュニティ・スクール認定校です。
わたしたち合唱部は毎日、高津校区を
はじめとする、多くの皆様に応援して
いただきながら大好きな歌を大好きな
仲間と共に歌うことができています。

愛媛労災病院クリスマスコンサート



日本ユネスコ運動全国大会 IN 新居浜



高津診療所クリスマスコンサート



高津校区文化祭高津小学校合唱部演奏会



♪これからもみなさんに**感謝の思い**で
高津小合唱部の歌声を届けます♪

TAKATSU CHORUS CLUB
When you hear our voices
Your spirit will be lifted

新居浜市立別子中学校

—中学生が地域とともに学び、つながりから共創を生み出す—

1|私たちの冒険のフィールドは、学校を越えた“地域”

別子中学校がある別子山地域は、人口約100人の山あいの地域です。過疎化や高齢化といった課題を抱えながらも、ここには、長年この土地で暮らし、地域を支えてきた多くの大人がいます。そして、多くの生徒は、平日に寮生活をしながら中学校に通っています。

私たちは、「中学生と地域がパートナーシップを結び、地域を元気にする」という活動理念のもと、地域をフィールドにした探究的な学びに挑戦しています。

2|地域とのパートナーシップから始まる探究「別子ファーム」

活動の出発点は、一人の中学生が発した「寮と学校の往復ではなく、もっと地域とつながりたい!」「私たちも地域課題に向き合いたい!」という声です。

話し合いを重ねる中で、地域の方が長年培ってきた知恵と、中学生の体力やアイデアを生かした野菜づくりの活動が動き始めました。別子ファームでは、地域の方と協力しながら野菜を育てています。畑での作業などを通して、生徒たちは、自然と向き合うことの難しさや、思い通りにいかないことを実体験しながら、対話を



大切に活動を進めています。現在は、「野菜管理部」「地域連携部」「広報・PR部」という3つの部署に分かれて、1~3年生までが理念の実現に向けて動き続けています。

3|中学生が地域・社会とつながる「野菜販売」

地域外の方にも別子山地域を知ってもらうため、道の駅「マイントピア別子」で、野菜販売にも挑戦しています。ここでは「売ること」が目的ではなく、野菜販売を通して、別子山地域とお客さんをつなげることを目的としています。

地域の農家や、マイントピア別子のスタッフの方々と準備段階から協力しながら活動することで、

大人と共に挑戦する醍醐味を味わっています。また、お客さんとのつながりから、私たちは「自分たちの活動が、地域の外にも広がっている」という手応えが得られています。



4|中学生の手で復活した「ふるさと別子夏まつり」

地域との関わりを重ねる中で、中学生からは新たな声が上がりました。「なくなってしまった夏祭りを、もう一度やりたい」こうして、中学生が中心となって企画・運営したのが、『ふるさと別子夏まつり』です。

企画から準備、当日の運営まで、地域の方と相談しながら、私たち自身が「つくりて」となって進めました。長く途絶えていた祭りが再び行われたことで、地域の伝統芸能が受け継がれたり、地域の方々の笑顔が見られたりしています。中学生の活動が、地域にとって大きな力になっているという喜びを実感しています。



5|大人と子どもがさらに深くつながる「おしゃべっし」

大人と子どもが名前呼び合える関係となり、新しい協働の種を見つける活動として、『おしゃべっし』と名付けられた対話の時間があります。(※おしゃべっし:おしゃべり+別子が組み合わせられた造語)

おしゃべっしでは、中学生と地域の大人が互いの過去(人生)をグラフにしたものを持ち寄って、1対1で対話します。そこでは、年齢や立場を越えて互いの過去を共有することで、人と人とのつながりをつくっています。答えを出すための話し合いではなく、**互いの思いを聴き合う対話**です。この対話の積み重ねが、地域の中に自分にとって大切な人を生み出し、別子山地域が“ふるさと”だと感じられるようになってきています。



6|共創の土壌を耕す「冒険する学校」

これらの4つの挑戦は、最初から設定された活動ではありません。私たち中学生の声から始まった多くの方との関わりが、私たち子どもと大人のチカラになり、そこでできたつながりがカタチとなったものです。これからの活動も、中学生が地域と出会い続け、対話を重ね、共に何かをつくり上げていく中で、まだ見ぬ共創が生まれてきます。こうした活動によって共創の土壌が耕され、子どもと大人が「冒険する学校」になっていきます。今後も冒険の仲間を増やししながら旅を続けていきます。

位置情報技術で祭りと街のスマート化

新居浜工業高等専門学校 グループ つるどん

【課題】時間のズレと混雑

新居浜太鼓祭りは、54台もの太鼓台が市内を練り歩き、毎年約10万人の観衆が訪れる地域最大の一大イベントです。しかし、その熱気と規模の大ききゆえに、長年解決されていない課題がありました。

「いつ来るか分からない」時間のズレ：事前に警察へ運行ルートを提出していますが、当日は競り合いや人混みにより、予定より1〜2時間遅れることがある。

「動けない」激しい混雑と渋滞：特定の場所に人が集中することで、危険な混雑や深刻な交通渋滞が発生。市役所には毎年多くの問い合わせや苦情が寄せられています。



【解決策】

アプリ「どんどこ」の開発
太鼓台の現在地をリアルタイム表示。

これまでの課題（昨年度）：以前は独自の通信機器を使用していました。費用が高く、市内全域をカバーするには設置が大変でした。

今年の解決策（ビーコン方式）：市内で小学生の見守り活動に使われている「みまもり隊にいはま」のネットワーク（SCSK株式会社・株式会社ハートネットワーク）を活用しました。

太鼓台には、お守りサイズの小さな「ビーコン（発信タグ）」を取り付けます。この電波を、街中の電柱にある受信機と、協力してくださる市民の皆様がスマートフォンがキャッチすることで、位置を特定します。



【成果】15万アクセス数

運用成果（祭り期間4日間）

- 総アクセス数：150,000回超
- 利用者感想：700件以上
利用者の声

- 祭り期間中は仕事だったので、出勤時にとても活躍しました。ありがとうございました！
- 太鼓台を探し回らなくても目指して行けるのが良かったです。また来年も運用して欲しい。

- 時間差があった。
- 位置情報のズレが大きかった。

アクセス数レポート

日付	アクセス数
2025-10-15	9,628
2025-10-16	22,912
2025-10-17	65,204
2025-10-18	59,734
2025-10-19	4,429
合計	161,907

位置情報技術で祭りと街のスマート化

より安全で快適な運営を目指して

混雑度の可視化

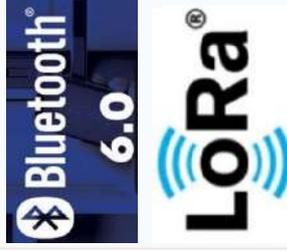
混雑回避、交通渋滞回避のために、AI（人工知能）を活用します。会場の映像からAIが人の数を自動でカウントし、「今、どこが混んでいるか」を地図上で色分け表示する機能です。これにより、危険な密集を避けて誘導することが可能になります。



位置精度向上

最大1kmの長距離通信が可能で、障害物にも強い。混雑した祭り会場での安定したデータ伝送が期待できる、WiFi HaLow (IEEE 802.11ah)の活用。

Bluetooth 6.0 : cm級の精密測距が可能。広域のLoRaと比較し、祭り会場に最適な技術を選定中。



高速DB & ゲームファイネーション

Tsurugi : 数万人の同時接続でもサクサク動く高速データベース。

ゲーム機能 : BLEの近接検知システムを開発。シミュレーションと実証実験で群衆内での有効性を検証中。どどこにゲーム要素を追加。ゲーム内アイテムを探す機能を応用。ユーザーに楽しみながら電波強度測定へ協力してもらう仕組みを構築。

PostgreSQL (32スレッド)

Tsurugi (32スレッド)

実行時間 (長)

実行時間 (短)

まとめ：地域課題解決のモデルケースへ

私たちは、この研究を通じて、新居浜太鼓祭りの課題を解決するだけでなく、地域コミュニティと最新技術が融合した「新しい地域のモデル」を作りたいと考えています。今後もの皆様や地域の協力を得ながら、日本一安全で快適な祭りを目指して開発を続けていきます。

MEMO





かかわりをチカラに
つながりをカタチに

地域教育実践東予ブロック集会実行委員会

○ 委員長 今井 博志 ○ 副委員長 越智 秀雄

○ 実行委員

明瀬 貴子 石原 善久 一色 司 印南 友統 小澤 潤 越智 健司
塩崎 宏幸 関 福生 谷口 晃 手塚 駿 處 淳子 鍋井 梨沙
西山 博 原 慶子 堀江 俊佑 松本 拓海 毛利 雅彦 柳瀬 剛
山中 健司 吉田 和仁 渡邊 靖

○ 集会運営協力委員

越智 洋子 篠原 茂 高橋 和紀 西坂 淳

新居浜市立惣開公民館・惣開小学校の皆さま

【お問い合わせ先】

地域教育実践東予ブロック集会実行委員会事務局
(東予教育事務所地域教育推進課内)担当:塩崎
TEL 0897-56-1300(内線 457)
FAX 0897-56-3176

第9回地域教育実践東予ブロック集会の報告について

- 1 開催日時 令和8年1月24日(土)12:30~16:00
- 2 開催場所 新居浜市立惣開小学校体育館・惣開公民館
- 3 参加人数 74名
(実行委員等20名、本部実行委員3名、一般27名、学生20名、引率教員等4名)

4 開催内容

12:00~	受付開始
12:30~12:50	歓迎アトラクション ・新居浜市立高津小学校合唱部
12:50~13:05	開会行事
13:05~14:05	シンポジウム「若い力と地域を動かす！」 ・新居浜工業高等専門学校 ・新居浜市立別子中学校
14:05~14:20	休憩
14:20~15:50	ワークショップ「東予万博を開催しよう」
15:50~16:00	閉会行事

5 内容について（アンケート結果から）

(1) シンポジウム

ア 満足度（4段階で選択）

満足(88.2%)、どちらかといえば満足(11.8%)、どちらかといえば不満(0%)、不満(0%)

イ 感想（抜粋）

- 別子中、かわいくてサイコーでした！！地域を大好きになる仕組みに感動です。
新居浜高専のみなさんの発明は、今後さらに進化しそうです！！新居浜を離れている人たちにも何か発信できそうですね。
- 自分よりも若い人が頑張っていることを実感して、自分に対しての刺激になった。
良い経験ができた。
- 新居浜高専さん、別子中学校さんの発表は、大変素晴らしかったです。
学生、生徒たちの一つのことを大事にすることが地域活性の大きな鍵になると感じました。
- クオリティーの高さに驚きました。教育がビジネスにもつながる展望があることに、大きな可能性を感じました。
- 発表の機会を与您くださりありがとうございました。ステージでの発表はきっと今後の中学生高校生のアクションにつながっていくと思います。
- コーディネーターの進行（質問、時間の使い方）がたいへんよかった。
- 新居浜高専の学生の発表時間がもう少し長かったらよかったです。

(2) ワークショップ

ア 満足度（4段階で選択）

満足(82.4%)、どちらかといえば満足(17.4%)、どちらかといえば不満(0%)、不満(0%)

イ 感想（抜粋）

- 時間をたっぷり使ったワークショップで、改めて地域の良さを発見できてよかったです。すごく楽しかった。
- 異年齢のグループで相談しながら一つのことを作り上げるワークショップは充実したものであった。楽しさとともに、東予地方をもっと知りたくなった。
- 私は東予出身ではないが、他の地域のことを詳しく知ることができた。今回話で出た場所や地域を訪れたい。また、できたパビリオンを見て、グループで何か仕上げることの達成感を味わうことができた。ありがとうございました。
- 同じ班に市が違ったり、年齢も違う人がいて、それぞれの市の魅力などを伝えあって、おんなじ東予だけど新しい発見とかもあって良かったなって思います。
- 1位になれなくてくやしかったです。でも、グループのみなさんと一つのパビリオンを作り上げられたのでよかったです。みなさんと何か一つのものを作り上げる楽しさを感じられました。
- グループメンバーから様々な東予の魅力が次々と出てきて、より東予愛がわいた。地元の良いさを伝えるための工夫や話し方など学ぶものが多かった。
- ファシリテーターの圧倒的な勢いに大満足です。各チームのパビリオンに物語を感じました。
- もう少し時間があればよかった。

6 全体を通しての感想

- 初めての参加でしたが、大変楽しく貴重な時間を過ごすことができました。いろいろな方とつながれたことを嬉しく思います。ありがとうございました。
- 合唱もとても素晴らしかったです！！ 準備等大変だったと思いますが、心から感謝です。ありがとうございました。また、来年もきます♪
- 今回はシンポジウムの場で発表をさせて頂けてありがとうございました。また地域教育の一環として発表を行い様々な事を知ることが出来ました。またこのような地域教育の行事がありましたら学校・先生を通じてお声を掛けて頂いて参加をしたいなと思いました。
- 改めて学校はやらせることが多く、やりたいことを形にしにくいと思っています。やりたいと認められる先生や、地域の方増えてほしいと思います。小学校教員ですが、公民館ともっと連携できればと思っています。公民館の方と繋がればありがたいです。今日は繋がりが増えました。ありがとうございました。
- 地域を回って開催させるのはいいですね。企画、準備、運営と、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

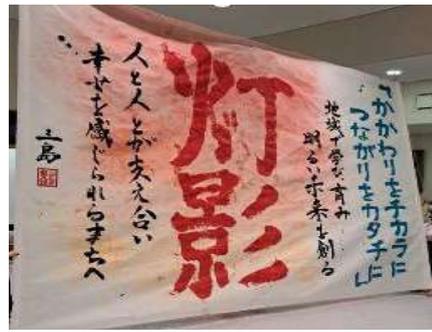
- 地域を盛り上げようと頑張っている子どもや大人が、こんなにもたくさんいることを知って、とても楽しくて温かい時間になりました。ありがとうございました！また次回も参加させて下さい！
- 地元の学生をはじめこんなにも地域と本気で向き合っている人がたくさんいると知って東予の今後がとても楽しみになった。
- 参加できてよかったです。アトラクションのコーラス、鳥肌たちました。地域を思う方々が自分の思いを発散して、参加者同士の思いを聴けて、それぞれがキラキラ輝ける場でした。運営の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。
- 出来れば、冷暖房が完備された施設での開催をお願いしたい。

7 次回に向けたテーマ

- 学校と地域が連携している事例
- できるだけ前向きな当事者会（障害者団体）障害者と教育について
- 学農業に関する団体のお話を聞きたい。
- 新居浜次世代ネットワーク
- FC 今治明德高校
- 人に焦点を当てた発表があってもいいかなぁと思いました。
- 漠然とまちづくり 等



【新居浜市立高津小学校合唱部によるアトラクション】



【昨年度アトラクションの作品を展示】



【若松さんによる開会あいさつ】



【コーディネーターは越智さんに“頼もう”】



【新居浜工業高等専門学校取組発表】



【新居浜市立別子中学校取組発表】



【ファシリテーター柳瀬さんによるワークショップ「東予万博を開催しよう」】



【ワールドカフェ方式で紹介】



【今井委員長による閉会あいさつ】